

ALA ニュース 第 163 号 内容紹介

01 L.フローレス「ベネズエラの民主主義にたいする攻撃」

大統領選挙をめぐる起こったサイバー攻撃や偽情報の拡散、暴力団の攻撃など、ベネズエラの現政権を転覆させることをねらったクーデターの企てである。ベネズエラ連帯ネットワークに掲載されたアメリカ研究者の論考。

02 V・ブラシャド「ベネズエラ国民はボリバル革命にとどまる」

グローバルサウス研究の歴史家、ジャーナリストが、なぜベネズエラで野党が勝利できないかの背景を分析。

03 全米法律家組合の監視団がベネズエラ選挙プロセスを称賛

選挙監視団に参加したアメリカの 5 人の法律家監視団が「選挙は透明性と公正であり、野党の転覆策動を排したベネズエラ国民の勝利」と強調。

04 米務省「米国はゴンサーレス候補を承認していない」

米務省のミラー報道官が、プリンケン長官の前言を訂正した。

05 米州ボリバル同盟「パナマのサミット招集を拒否する」

ベネズエラの選挙問題を協議するためとして親米のパナマ政権によるサミット開催のよびかけを、ベネズエラやカリブ海諸国の多くが参加する米州ボリバル同盟が内政干渉を拒否すると声明した。

その他の記事は「ALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala_news の編集日記 \(livedoor.jp\)](https://aala-news.com/livedoor.jp)）

